



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年5月13日

上場会社名 株式会社セルシード 上場取引所 東
 コード番号 7776 URL http://www.cellseed.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 せつ子
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門長 (氏名) 山崎 浩 TEL 03-6380-7490
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月16日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績（平成28年1月1日～平成28年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	7	△59.6	△228	—	△228	—	△228	—
27年12月期第1四半期	18	25.4	△181	—	△181	—	△181	—

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 △246百万円 (—%) 27年12月期第1四半期 △235百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	△25.69	—
27年12月期第1四半期	△20.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第1四半期	2,335	2,215	94.3	245.19
27年12月期	2,489	2,389	95.5	267.73

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 2,202百万円 27年12月期 2,378百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年12月期の連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35	18.3	△650	—	△650	—	△650	—	△73.2
通期	100	△48.2	△1,200	—	△1,150	—	△1,150	—	△129.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期1Q	8,984,419株	27年12月期	8,884,419株
② 期末自己株式数	28年12月期1Q	127株	27年12月期	127株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期1Q	8,903,083株	27年12月期1Q	8,674,292株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一連の政府による経済政策や日銀による金融政策を背景に、雇用・所得環境等が改善され緩やかな回復基調が続いておりますが、その反面、業種によっては生産や投資に一部慎重さがみられるなど、実体経済としてはまだまだ弱含みの状況が続いております。

当社グループを取り巻く先端医療・再生医療分野におきましては、平成28年3月に大阪にて第15回日本再生医療学会総会が開催され、「知のシンフォニー」をテーマに再生医療を普遍的治療に発展させることを目指した関係者相互間の情報交換などが行われました。

以上のような環境の下、当社グループは再生医療支援事業及び細胞シート再生医療事業における活動を推進いたしました。

上述のような活動の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は7,603千円(前年同四半期比11,233千円の減少)、営業損失は228,761千円(前年同四半期比47,213千円の増加)、経常損失は228,244千円(前年同四半期比46,713千円の増加)、四半期純損失は228,745千円(前年同四半期比46,771千円の増加)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 再生医療支援事業

再生医療支援事業では、温度応答性細胞培養器材に関する研究開発活動に取り組みました。また再生医療産業化展(平成28年2月24日から2月26日、インテックス大阪)及び第15回再生医療学会総会(平成28年3月17日から3月19日、大阪国際会議場)の付設展示会に当社ブースを出展するなど、当社器材製品の積極的な販売促進活動にも取り組みました。また、平成28年3月にテルモ株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長新宅 祐太郎、以下「テルモ」という。)との細胞培養器材に関する取引基本契約を締結しました。今後当社は、本契約締結によりテルモが再生医療等製品に係る保険適用決定を受けた「ハートシート」に含まれる当社製品(温度応答性細胞培養器材)について、当社市販製品(研究開発用途に限定)とは異なる、テルモの定めた特別仕様製品を安定的に提供する予定です。

以上のような活動の結果、売上高は7,603千円(前年同四半期比11,233千円の減少)、営業損失は17,970千円(前年同四半期比1,832千円の増加)となりました。

② 細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、食道再生上皮シート及び軟骨再生シートの細胞シート再生医療製品パイプラインの自社開発を中心とした研究開発を推進しております。

昨年末に独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)へ提出後にいったん取り下げとしておりました食道再生上皮シートの治験届について、その後準備作業を推進し平成28年4月に改めて提出いたしました。

以上のような活動の結果、営業損失は126,203千円(前年同四半期比27,736千円の増加)となりました。(当該事業は現在事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。)

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて358,124千円減少し、1,825,263千円となりました。これは主に、現金及び預金が355,803千円減少したことなどによります。

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて203,631千円増加し、509,782千円となりました。これは主に、建設仮勘定が204,305千円増加したことなどによるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて154,492千円減少し、2,335,045千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて19,406千円増加し、119,217千円となりました。これは主に、賞与引当金が11,699千円、前受金が10,998千円それぞれ増加したことなどによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて19,406千円増加し、119,217千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて173,898千円減少し、2,215,828千円となりました。これは主に、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ35,410千円増加する一方、親会社株主に帰属する四半期純損失228,745千円を計上したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成28年2月16日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

1. 企業結合に関する会計基準等の適用

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当社新株予約権の行使による資金調達の実施等により、前連結会計年度末の手元資金(現金及び預金)残高は2,067,607千円となり、財務基盤については一定水準を保持して推移しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておりません。以上のことから、当社グループは当四半期連結会計期間において、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社グループは当該状況の解消を図るべく、引き続き以下の施策に取り組んでおります。

当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の実現と器材事業の拡充による収益機会の獲得

当社グループは、今後、当社が優先的自社開発パイプラインとして設定した食道再生上皮シート並びに軟骨再生シートの開発を推進し、当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を実現すること、また再生医療製品の関連周辺機器の開発を拡充し、更なる収益機会を獲得していくことで当該状況の解消を図って参ります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,067,607	1,711,803
売掛金	26,768	8,950
商品及び製品	12,962	16,156
貯蔵品	9,041	9,041
前払費用	10,931	12,439
その他	56,076	66,871
流動資産合計	2,183,387	1,825,263
固定資産		
有形固定資産		
建設仮勘定	215,100	419,405
その他(純額)	30,480	30,521
有形固定資産合計	245,580	449,927
投資その他の資産	60,570	59,855
固定資産合計	306,150	509,782
資産合計	2,489,538	2,335,045
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,308	2,968
未払金	63,521	67,335
未払法人税等	950	2,601
賞与引当金	—	11,699
前受金	9,999	20,998
その他	19,031	13,613
流動負債合計	99,811	119,217
負債合計	99,811	119,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,852,583	2,887,993
資本剰余金	74,380	109,790
利益剰余金	△584,247	△812,993
自己株式	△201	△201
株主資本合計	2,342,514	2,184,588
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	36,115	18,288
その他の包括利益累計額合計	36,115	18,288
新株予約権	11,097	12,950
純資産合計	2,389,727	2,215,828
負債純資産合計	2,489,538	2,335,045

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	18,836	7,603
売上原価	9,827	3,188
売上総利益	9,009	4,414
販売費及び一般管理費		
研究開発費	76,421	110,336
その他	114,135	122,839
販売費及び一般管理費合計	190,556	233,176
営業損失(△)	△181,547	△228,761
営業外収益		
受取利息	251	189
保険返戻金	—	1,380
その他	395	285
営業外収益合計	646	1,855
営業外費用		
株式交付費	—	668
為替差損	629	670
営業外費用合計	629	1,339
経常損失(△)	△181,531	△228,244
税金等調整前四半期純損失(△)	△181,531	△228,244
法人税、住民税及び事業税	443	500
法人税等合計	443	500
四半期純損失(△)	△181,974	△228,745
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△181,974	△228,745

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
四半期純損失(△)	△181,974	△228,745
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△53,099	△17,826
その他の包括利益合計	△53,099	△17,826
四半期包括利益	△235,073	△246,572
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△235,073	△246,572
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、新株予約権の行使に伴う新株の発行により、当第1四半期連結期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ35,410千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が2,887,993千円、資本準備金が109,790千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年1月1日至平成27年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント（注）1			調整額 （注）2	四半期連結損 益計算書計上 額（注）3
	再生医療支援 事業	細胞シート再 生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,836	—	18,836	—	18,836
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,836	—	18,836	—	18,836
セグメント損失（△）	△16,137	△98,466	△114,604	△66,943	△181,547

(注) 1 再生医療支援事業は既に製品を販売して売上高を計上しておりますが、細胞シート再生医療事業は現在、事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。

2 セグメント損失の調整額△66,943千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成28年1月1日至平成28年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント（注）1			調整額 （注）2	四半期連結損 益計算書計上 額（注）3
	再生医療支援 事業	細胞シート再 生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,603	—	7,603	—	7,603
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,603	—	7,603	—	7,603
セグメント損失（△）	△17,970	△126,203	△144,174	△84,587	△228,761

(注) 1 再生医療支援事業は既に製品を販売して売上高を計上しておりますが、細胞シート再生医療事業は現在、事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。

2 セグメント損失の調整額△84,587千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。